

重
文
財
要

親鸞聖人御真筆御消息

高田専修寺蔵

解説 平松令三



重要文化財

親鸞聖人御真筆御消息

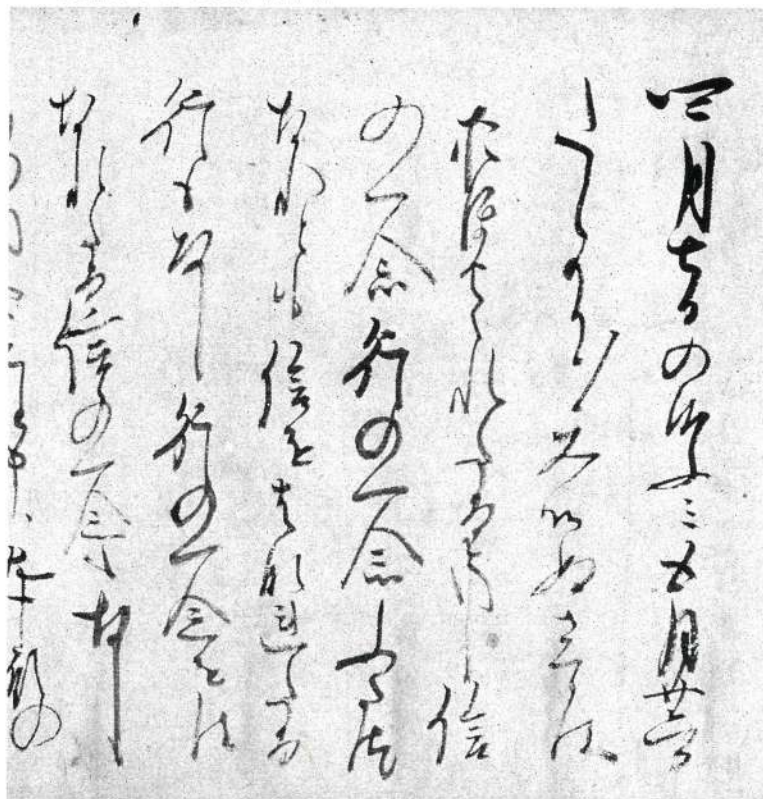
■高田専修寺 蔵

■解説 平松令三

特 徴

- 関東の直弟子覚信房への返書で、「覚信御房あて御返事」といわれます。
- 「信をはなれたる行もなし。行の一念をはなれたる信の一念もなし」と、教えの根幹を語る聖人。「信行一念章」とも称されて、後世の指針となった、貴重な真筆消息文です。
- 執筆は建長八年五月、子息善鸞へ義絶状を送る前日にあたります。

● 「覚信房あて御返事」前半部



《仕様・体裁》

- 軸寸法／天地一二九・五cm×左右九〇・三cm
- 印刷／コロタイプ多色刷
- 用紙／特漉鳥の子紙
- 柁目桐篭入
- 解説書／A5判